



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和5年 1月 20日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディエスディージーズスイシンキョウギカイ

団体名 岡山市京山地区ESD・SDGs推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	新規 ☒ 継続 ☐ 9回目(平成27年度から)
課題	京山地区ESD・SDGs推進協議会は毎年、ESD・SDGsフェスティバルにおいて地域課題を論議している。平成27年の第10回フェスティバルでは「自転車マナー」が京山地区の最大の課題であると指摘された。それ以後、地域の絆プロジェクト企画委員会を中心として、「やさしく走ろう京山」運動を展開し、「自転車マナー問題」の解決を目指している。
事業の目的	地域住民の生活が安全・安心であることは最も大切なことの一つである。京山地区ESD・SDGs協議会では、ESD・SDGsの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力している。 ①京山地区の地域課題ランキングの第1位の「自転車のマナーの改善」、「やさしく走ろう京山」運動に取り組み、京山地区が安全で安心できる地域を作っていく。 ②「やさしく走ろう京山」運動を通して、「自転車先進都市おかやま」をめざす先進的な取り組みにする。 ③この運動を通して、SDGs目標11の「住み続けられるまちづくり」を京山地区で一歩進める。

事業の内容・感染防止対策の内容	・今年度の最重点課題は、4月から道路交通法の改正によって、すべての自転車乗車時にヘルメット着用が努力義務化される。この努力義務が進められるように取り組む。まだ、具体的な取り組み内容は決まっていすが、今までの自転車マナーの啓発活動の実績を踏まえて取り組みを行う。 ・また、このコロナ禍の状況では、今年度の重点を今まで以上に伊島、津島小学校、京山中学校に置く。 ・「やさしく走ろう京山」運動の認知度を小中学生に深めるために、「やさしく走ろう京山」の啓発プレート、啓発ステッカー、さらに宣伝のためのロゴの入ったクリアホルダーなどを児童、生徒に配布し、「やさしく走ろう京山」の文字・ロゴの“見える化”を続ける。 ・伊島小学校、津島小学校、京山中学の児童、生徒あてに「やさしく走ろう京山」運動についての意識を深めるアンケートを実施する。 ・伊島、津島小学校の交通安全教室が開催された時には、出向いて、「やさしく走ろう京山」運動の趣旨を伝える。 ・京山地域住民に対しては、「やさしく走ろう京山」運動のポスターを公民館、交番、各学校、町内会など、京山地区の様々な場所に掲示する。啓発プレート、啓発ステッカー、ポスターを公民館などに常時置く。 ・「自転車マナー向上交通教室」をコロナ対策を万全にし開催する。 ・昨年後半から実施できた、岡山大学前交差点での「自転車マナー向上協働行動」を令和5年度もコロナ対策を徹底し、岡大、警察署と協議しながら実施する。 ・伊島学区、津島学区、隣接する御野学区、岡山大学事務局、岡山大学のボランティア学生組織「岡山大学地域つながり隊」、岡山西警察署、岡山市の自転車都市推進担当課などとの協働の運動を行い、「自転車先進都市おかやま」のモデル事業をめざす。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の啓発を促す。この運動を新聞・テレビなど地域のマスコミにアピールする。 ※感染予防対策 ・「自転車マナー向上交通教室」そして各種会議については、京山公民館に協力いただき、備品のアクリル板、消毒液等を利用しながら対策をする。 ・「自転車マナー向上協働行動」についてはマスクの着用、距離をとっての説明しチラシを配布することを努める ・各小学校で交通安全教室が開催された時には、学校と打ち合わせの上、マスク着用義務に努める。
期待される成果・目標	・ヘルメットの着用が増えることにより、自転車乗車時の安全性がより高まる。 ・「やさしく走ろう京山」を広げ、啓発プレート・ステッカーを付けること、ポスター、のぼりなどによって自転車マナー意識の向上を行い、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になること。 ・「やさしく走ろう京山」運動を発端とし“自転車先進都市おかやま”への取り組みが進む。 ・各小学校児童、京山中学校生徒へのアンケートを実施した結果、「やさしく走ろう京山」運動の認知度”知っている”を50%以上にする。

企画などの工夫	・ヘルメット着用の努力義務化に伴い、取り組み方法を工夫・検討して取り組む。 ・「やさしく走ろう京山」の文字・ロゴの“見える化”を進める。 (プレート、ステッカーポスター、のぼり、クリアファイルなど) ・現在協働行動ができている、隣接の御野学区、岡山大学・岡山市の自転車都市推進担当課など関係団体と協働行動をさらに強める。また、この協働行動を「自転車先進都市おかやま」をみすえて、協働の運動を行う。他学区にも広げるように努める。
協働する団体等	・岡山市立伊島小学校 ・岡山市立津島小学校 ・岡山市立京山中学校 ・御野学区各種団体 ・岡山大学・岡山大学地域つながり隊 ・岡山市自転車都市推進担当課などの関係各課 ・京山中学校区各町内会 ・伊島・津島学区コミュニティ協議会 ・伊島・津島学区交通安全対策協議会 ・伊島・津島学区交通安全母の会 ・伊島・津島学区安全安心ネットワーク・伊島・津島学区老人クラブ ・明誠学院高等学校、岡山工業高等学校 ・岡山商科大学付属高等学校
事業の情報公開	・「地域の絆プロジェクトだより」(年4回発行)を地域の全戸に配布(約1万世帯) ・京山地区ESD・SDGs推進協議会や京山地区地域安全パトロール隊、参加団体への取り組み説明。 ・オニビジョン、山陽新聞などマスコミ関係に積極的に呼びかけ。
学区地区への広がり	・ヘルメット着用の努力義務化に伴い、京山地区の住民にその趣旨の徹底、啓発を行う。 ・ポスター掲示、のぼりの設置を充実させる。 ・「自転車マナー向上協働行動」を軸に他地区、岡山市全体への働きかけをし、「自転車先進都市おかやま」を目指す。
前年度からの見直し拡充点	・道路交通法の改正に伴い、すべての自転車乗車時にヘルメット着用の努力義務化が実施されるのに伴い、啓発などへの取り組みを検討する。 ・児童・生徒の意見でステッカーのデザインの見直し、ヘルメットへつけるステッカーの作成を行いたい。 ・伊島、津島小学校児童、京山中学校生徒へのアンケートを実施し、“「やさしく走ろう京山」運動を知っている”を現在約35%から50%以上に高める。“聞いたことがある”を含めて70%から80%とする数値目標を掲げる。 ・昨年度2回実施できた「自転車マナー向上協働行動」を各学期1回の開催を定着させたい。また、ヘルメットの努力義務化を進める協働行動の一環としたい。
次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ・「やさしく走ろう京山」運動についての認知度を地域住民、小中学生に深めるために、ポスター、のぼり旗による呼びかけを行う。 ・啓発プレート、ステッカー配布を積極的に進め、「自転車マナー」向上の意識を高めたい。 ・啓発プレート、ステッカーが古くなり傷んでいるので、地域の方へ再度、付け直し、貼り替えを呼び掛けていく。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 ○ 資金確保の具体的な方策： 協賛金・協力金募集の趣意書を配布し、参加団体などに呼びかけ、資金確保に

	努める。また、引き続きこくみん共済からの補助金を得る。
その他PRしたい点	・自転車乗車時のヘルメットの努力義務化の法改正に呼応して、様々な団体と連携して協働行動を強化したい。 ・この事業は継続実施の必要性があることは明らかである。令和5年度以降も啓発プレート、ステッカー、クリアホルダー「やさしく走ろう京山」の配布、ポスター掲示の依頼、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていく。 ・御野学区、岡山大学との協働行動「自転車マナー向上協働行動」は学区を超えたという点で画期的なことだと考えているこれをさらにすすめていきたい。

事業スケジュール 随時、プレート、ステッカー、ポスター配布

月日	活動内容
4月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 交通安全週間 ポスターを関係機関へ配布 伊島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
5月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 伊島認定こども園へプレート、ステッカー配布 ポスターを関係機関へ配布
6月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布 津島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
7月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山中学校へプレート、ステッカー配布 京山中学校でのアンケート調査
8月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
9月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上交通教室」開催 交通安全週間 「地域の絆プロジェクトだより」配布 ポスターを関係機関へ配布
10月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 地域のイベントで啓発プレート、ステッカー、ポスター配布
11月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
12月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布
1月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区ESD・SDGsフェスティバル 「自転車マナー向上協働行動」の実施
2月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
3月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	200,000	200,000	
実施団体負担金	26,750	30,000	京山地区ESD・SDGs推進協議会
参加者負担金			
協賛金	45,000	40,000	交通対策協議会・安全安心ネットワーク等
寄附金、他収入	130,000	130,000	
収入合計	401,750	400,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	401,750	386,000	啓発プレート・クリアホルダー・のぼり作成代 啓発ステッカー、ヘルメット用ステッカー作成代 地域の絆だより・チラシ、ポスター作成代
②食糧費		12,000	活動スタッフ 飲み物代
③印刷製本費			
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費		2,000	企画委員会案内郵送代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
小計(①)	401,750	400,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費			
小計(②)			
支出合計(①+②)	401,750	400,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ○希望しない
----------------	------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。